

答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 1 韓国	東アジアでは急速な経済発展や社会変化に伴い少子高齢化が進行している。特にこの国では、激しい受験競争や不動産価格の高騰、雇用の不安定化などを背景に少子化が極めて深刻化しており、合計特殊出生率は1を大きく割り込んでいる。これにより、人口ピラミッドは底が狭い「つぼ型」の傾向を強めており、高齢化率が急速に上昇することが予測されている。
問2	答え 2 ニュータウン	郊外に計画的に建設された住宅地（ニュータウン）では、開発初期に若いファミリー層が一斉に入居したため、核家族世帯の割合が非常に高くなる特徴がある。これに対し、都市中心部や主要道路沿いでは賃貸住宅が多く利便性が高いため、転勤者や若者が集まり居住期間が短い人口割合が高くなる。また、都市周辺の農村部では農業が営まれているため第1次産業就業者世帯割合が高くなるという、都市内部の機能分化に伴う人口・世帯構成の空間的分布が見られる。
問3	答え 3 シバーム	アラビア半島南部のイエメンに位置するこの都市は、粘土とわらを混ぜた日干しレンガを用いた5～8階建ての高層建築が密集していることで知られる。この密集した構造は、強い日差しを遮って日陰を作り、砂風の侵入を防ぐ役割を果たしている。また、外敵や洪水から街を守る城壁で囲まれているのも特徴である。
問4	答え 2 スラム	発展途国の大都市では、地方からの急激な人口流入に対して住宅やインフラの整備が追いつかず、都市最縁辺部の低湿地や急斜面などの居住に適さない場所に、簡易的な住居が集まる不良住宅地（スラム）が形成される。ラテンアメリカでは、ブラジルのファベラなどがその代表例である。
問5	答え 4 ハーロー	イギリスでは、1946年のニュータウン法に基づき、ロンドンの過密対策として周辺に複数の計画都市が建設された。その代表例がハーロー（Harlow）であり、これらは職住近接型の自立した都市として設計された。
問6	答え 1 庄内平野	最上川の下流域に位置するこの地域では、冬季に日本海を渡る冷たく湿った北西の季節風が強く吹きつけるため、風雪から家屋を守るための屋敷林が伝統的に設けられてきた。これに対し、最上川の中流域などの内陸盆地では、積雪への対策として急傾斜の屋根や高床などの工夫がみられる。なお、これらは夏季のやませ（冷害をもたらす北東風）への対策ではない点に注意が必要である。
問7	答え 4 地理情報システム（GIS）	コンピュータ上で位置情報（空間データ）を持つ様々なデータを重ね合わせ、分析や表現を行う技術を地理情報システム（GIS）と呼ぶ。都市郊外の土地利用変化を時系列で追う際、空中写真や衛星画像から得られた土地利用データをGIS上で重ね合わせることで、農地から住宅地への転用状況などを視覚的かつ定量的に把握することができる。
問8	答え 1 ベッドタウン	中心都市への通勤・通学に依存する周辺地域では、住宅地としての開発が進み、昼間は中心都市へ人口が流出するため、夜間人口が昼間人口を大きく上回る。このような地域はベッドタウンと呼ばれ、職住分離が顕著である。
問9	答え 2 白豪主義	1901年の連邦結成時に法制化された、白人以外の移民を制限・排除する政策。第二次世界大戦後の労働力不足や国際的な批判、アジア諸国との経済的結びつきの強化などを背景に、1970年代に完全に撤廃された。その後、オーストラリアは多様な文化を認める多文化主義へと舵を切り、アジア系移民が急増することとなった。
問10	答え 1 常滑市	知多半島は名古屋大都市圏の一部を構成しており、名古屋市に隣接する北部（大府市や東浦町など）ではベッドタウン化が進み、人口増加率が高く老年人口割合が低い。これに対し、中部国際空港（セントレア）が位置する常滑市は、空港の開港による産業活性化はあるものの、名古屋市中心部からの距離があるため、北部ほどの急激な人口流入はみられず、老年人口割合も北部より高めにとどまっている。さらに南部（美浜町や南知多町など）では、過疎化と高齢化がより深刻化している。したがって、空欄に該当するのは常滑市である。

高校地理プリント（過去問類似）
人口・都市・生活文化 No.7

名前

得点

/10

問1 かつてサトウキビ栽培などのプランテーション農業の労働力として多くのアフリカ系住民が連れてこられたカリブ海地域やブラジルなどで多く見られる、ヨーロッパ系住民とアフリカ系住民との混血の呼称として最も適当なものを答えよ。（2012年 全国公立入試 類似）

1. メスチソ 2. クリオール 3. ムラート 4. サンボ

問2 イギリスの一部であり、アイルランド島の北東部に位置する地域で、同国への残留を望むプロテスタント（主にイギリス系入植者の子孫）と、隣国への統合を望むカトリック（主に先住民系）との間で、長年にわたり激しい対立が続いた地域はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 東ウクライナ 2. 北コーカサス 3. 北アイルランド 4. 沿ドニエストル

問3 アジア諸国のうち、近年、合計特殊出生率が1を大きく下回るなど極めて深刻な少子化が進行しており、人口ピラミッドの底辺が急速に縮小するとともに、今後は世界で最も急速な高齢化が進行すると予測されている国はどこか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 韓国 2. 日本 3. 台湾 4. 中国

問4 西ヨーロッパの平野部において、中世以来の農業における共同作業の必要性や、外敵の侵入に対する共同防御の観点から、家屋が密集して形成された集落の総称を何というか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. 散村 2. 街村 3. 路村 4. 集村

問5 高度経済成長期以降の日本において、都市の急速な発展に伴い、中心部の地価高騰や環境悪化を避けるため、人口や産業が都市の周辺部へと拡大・移動した現象を何というか。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 郊外化 2. 都市化 3. 副都心 4. 過密化

問6 1990年の法改正以降、主に自動車産業や電気機械産業が集積する地域に家族を伴って定住する事例が増加した。そのため、他の主要な在留外国人と比較して男女比がほぼ均等であり、日本で生まれた子供を含む年少人口の割合が比較的高いという人口ピラミッドの特徴を示す、南米にルーツを持つ在留外国人の集団は何か。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 在日ペルー人 2. 在日ベトナム人 3. 在日フィリピン人 4. 在日ブラジル人

問7 人口動態やジェンダーに関する指標のうち、1人の女性が一生の間に産むと見込まれる平均子ども数を示す指標であり、ヨーロッパでは少子化を背景に2.0未満の低水準に集中する一方、アフリカでは多産を背景に4.0以上と非常に高い水準を示すものを何というか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. 従属人口指数 2. 老年人口比率 3. 年少人口比率 4. 合計特殊出生率

問8 かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史的背景から、キリスト教徒において特定の宗派が圧倒的多数を占めるのではなく、旧宗主国の影響を反映してカトリックとプロテスタントの信者数が拮抗している。また、伝統宗教と融合した独自の独立教会などの「その他」の宗派の割合も比較的高いという特徴を持つ、世界の広域地域（州）はどこか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. オセアニア 2. アジア 3. アフリカ 4. ヨーロッパ

問9 毎日5回、世界中の信徒がこの地の方角を向いて礼拝を行うことで知られるイスラム教最大の聖地であり、東経45度を基準とする標準時を採用しているため、日本（東経135度）が正午のとき現地時刻が午前6時となる都市はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. カルバラー 2. メディナ 3. エルサレム 4. メッカ

問10 ヨーロッパ南東部のバルカン半島において、伝統的なキリスト教（カトリックや正教会）に加え、現在も一部の地域でイスラームが信仰される要因となった、14世紀以降にこの地域を支配したイスラーム国家は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. ビザンツ帝国 2. フランク帝国 3. オスマン帝国 4. ペルシア帝国

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 3 ムラート	カリブ海諸国やブラジルなど、かつてアフリカからの奴隷労働力に依存したプランテーション農業が盛んだった地域では、ヨーロッパ系住民とアフリカ系住民の混血が進んだ。この混血はムラートと呼ばれ、地域の人口構成において重要な位置を占めている。
問2	答え 3 北アイルランド	17世紀以降のイギリスからのプロテスタントの入植により、先住のカトリックとの間で社会的な格差や対立が生じた。20世紀後半には武装組織によるテロを含む激しい紛争に発展したが、1998年の和平合意（ベルファスト合意）によって和平プロセスが進められた。
問3	答え 1 韓国	東アジアでは急速な経済発展や社会変化に伴い少子高齢化が進行している。特にこの国では、激しい受験競争や不動産価格の高騰、雇用の不安定化などを背景に少子化が極めて深刻化しており、合計特殊出生率は1を大きく割り込んでいる。これにより、人口ピラミッドは底が狭い「つぼ型」の傾向を強めており、高齢化率が急速に上昇することが予測されている。
問4	答え 4 集村	西ヨーロッパの平野部では、中世の開放耕地における共同作業（三圃式農業など）や、外敵からの自衛のために、家屋が1か所に密集して立地する集落が発達した。このような集落の形態を「集村」と呼ぶ。これに対して、家屋が広範囲に分散して立地する形態を「散村」と呼ぶ。
問5	答え 1 郊外化	都市の規模が拡大するにつれて、中心部の居住環境悪化や地価高騰を背景に、人口や住宅地、商業施設などが都市の周辺部（郊外）へと拡大していく現象を「郊外化」と呼ぶ。これに対し、近年見られる山間部への移住や古民家改修などの動きは、都市周辺部への拡大ではなく、地方の農山村への移動であるため「田園回帰」に分類され、郊外化とは区別される。
問6	答え 4 在日ブラジル人	1990年の入管法改正により、日系人が家族を伴って来日し、静岡県や愛知県、群馬県などの工業都市に定住した。家族同伴での来日・定住が多いため、単身の若者が多い中国人や、女性の割合が極端に高いフィリピン人などの他の在留外国人と異なり、男女比がほぼ均等で、子供の割合も一定数存在する人口構成（ピラミッド型に近い形）となっている。
問7	答え 4 合計特殊出生率	1人の女性が一生の間に産むと見込まれる平均子ども数を示す指標を合計特殊出生率という。ヨーロッパでは少子化や女性の社会進出を背景に、人口置換水準を下回る2.0未満の低水準に集中している。これに対し、アフリカでは伝統的な多産や乳幼児生存率の低さを背景に、4.0以上という非常に高い水準を示す国が多い。アジアは経済発展段階の多様性を反映し、国によって高低の差が大きく、中間的な水準に広く分布している。
問8	答え 3 アフリカ	かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の影響で、旧宗主国の宗教が伝播した結果、カトリックとプロテスタントがともに広く普及し、信者数が拮抗している。また、伝統宗教と融合した独自の独立教会などがその他に含まれ、その割合も高い。カトリックが圧倒的な地域は中央・南アメリカ、正教の割合が目立つ地域はヨーロッパである。
問9	答え 4 メッカ	イスラム教の創始者ムハンマドの生誕地であり、ムスリムが毎日5回行う礼拝（サラート）の方向（キブラ）となる聖地はメッカである。メッカが位置するサウジアラビアは東経45度を標準時子午線としており、東経135度を基準とする日本とは6時間の時差がある。そのため、日本が正午（12時）のとき、メッカは同日の午前6時となる。
問10	答え 3 オスマン帝国	バルカン半島は、歴史的にこのイスラーム国家の支配下に入ったことで、イスラームが伝播した。これにより、同地域ではカトリック、正教会、イスラームの3つの宗教が複雑に混在する状況が形成され、近代以降の民族・宗教対立の背景となった。

高校地理プリント（過去問類似）
人口・都市・生活文化 No.8

名前

得点

/10

問1 1950年時点では1億人未満であったが、第二次世界大戦後の急激な人口増加や農村から都市への人口流入を背景に一貫して増加し、2000年には3億人を超える規模に達した、特定の大陸における人口区分は何か。（2010年 全国公立入試 類似）

1. アフリカの都市人口 2. ヨーロッパの都市人口 3. アジアの都市人口 4. アフリカの農村人口

問2 南アジアに位置し、人口の多くがヒンドゥー教を信仰している。この宗教では牛が神聖視されているため牛肉の消費が忌避されるほか、厳格な菜食主義者も多いため、経済規模に対して1人あたりの肉類消費量が極めて少ない国はどこか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. イラク 2. インド 3. ラオス 4. イラン

問3 日本の人口構造の推移において、15歳以上65歳未満の人口区分を何というか。この人口区分に対する年少人口と老年人口の合計の比率は、高度経済成長期から1990年頃にかけて低下し、日本に経済成長をもたらす要因となったが、その後の少子高齢化により再び上昇傾向にある。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 年少人口 2. 老年人口 3. 従属人口 4. 生産年齢人口

問4 カリブ海地域における人口移動は、かつての宗主国との歴史的・言語的なつながりに強く影響されている。旧イギリス領であり、英語系の言語が話されていることから、かつての宗主国であるヨーロッパの国への移住者を多く送り出している島国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ジャマイカ 2. ドミニカ 3. パルバドス 4. セントルシア

問5 インドにおいて、衛生的なトイレの普及を阻む要因の一つとして、特定の宗教における「浄・不浄」の観念が挙げられる。同国で全人口の約8割を占め、カースト制度の背景ともなっているこの宗教は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ユダヤ教 2. イスラーム教 3. ヒンドゥー教 4. キリスト教

問6 南アジアの大国インドにおいて、全人口の約8割を占める多数派の信者を持ち、牛を神聖視するなどの生活習慣や、歴史的な身分制度であるカースト制度と深く結びついている宗教の名称を答えよ。（2005年 全国公立入試 類似）

1. キリスト教 2. ジャイナ教 3. ヒンドゥー教 4. イスラム教

問7 ヨーロッパにおいて、ゲルマン語派に属する言語、ラテン語派に属する複数の言語、およびロマンシュ語の計4つの言語を公用語として定めており、地域ごとに異なる言語が使用されつつも、それぞれの言語の権利が尊重されている永世中立国はどこか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. ドイツ 2. チェコ 3. ロシア 4. スイス

問8 18世紀以降、東インド会社を通じたアジアからの輸入や、アフタヌーンティーに代表される生活習慣の定着により、伝統的に茶の消費量が極めて多い一方で、コーヒーの消費量も一定水準存在する、ヨーロッパ西部の島国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. スペイン 2. イタリア 3. フランス 4. イギリス

問9 南アメリカのアンデス山脈沿いに位置するボリビアやペルーなどの国々において、スペインによる植民地支配を経た現代でも、人口構成において最も高い割合を占めている、コロンブス到達以前から現地に居住していたモンゴロイド系の系統を引く人々の一般的な呼称は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 先住民 2. 中国系 3. 日系人 4. 欧州系

問10 都市内部における諸機能の立地について、ビジネスや商業活動の利便性を重視し、都市の中心業務地区（CBD）や中心市街地に高度に集中して立地する傾向が最も強い施設を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 銀行 2. 交番 3. 病院 4. 工場

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 1 アフリカの都市人口	第二次世界大戦後のアフリカでは、医療技術の普及などによる自然増加率の高さに加え、仕事を求めて農村から都市へ人口が大量に流入する都市化が急速に進んだ。このため、1950年には1億人に満たなかった都市人口は、2000年には3億人を超える規模へと急増した。
問2	答え 2 インド	インドでは人口の約8割をヒンドゥー教徒が占めており、牛を神聖な動物として崇めるため牛肉の消費が禁忌とされている。また、イスラム教徒も一定数存在し豚肉を忌避すること、さらに殺生を嫌う教義から完全な菜食主義者（ベジタリアン）の割合が非常に高いことなどから、国全体の肉類消費量は極めて低く抑えられている。
問3	答え 4 生産年齢人口	15歳以上65歳未満の人口区分は生産年齢人口と呼ばれる。生産年齢人口に対する、年少人口（15歳未満）と老年人口（65歳以上）の合計の比率（従属人口指数）が低下することは、働く世代の負担が相対的に軽く、経済成長を促しやすい状態（人口ボーナス）を意味する。日本では1990年頃にこの指数が最低となったが、その後の少子高齢化により生産年齢人口が減少したため、指数は上昇している。
問4	答え 1 ジャマイカ	カリブ海諸国からの移民の流出先は、かつての宗主国との歴史的・言語的なつながりに強く影響される。旧イギリス領のジャマイカからは、英語系の言語が話されているため、英語圏のイギリスへの移住が多くみられる。一方、旧フランス領のハイチからはフランスやカナダへの移住が多い。
問5	答え 3 ヒンドゥー教	インドにおける衛生環境の改善、特にトイレの普及において、ヒンドゥー教の伝統的な「浄・不浄」の観念が影響を与えている。ヒンドゥー教では、排泄行為や排泄物を極めて不浄なものとするため、住居の敷地内にトイレを設置することを忌避する傾向が一部の農村部などで根強く残っていた。このため、政府によるトイレ建設事業だけでなく、住民の意識改革を促す啓発活動が重要視された。
問6	答え 3 ヒンドゥー教	インドでは全人口の約80%がヒンドゥー教を信仰しており、これが同国最大の宗教となっている。仏教の起源の地であるものの、現在のインドにおける仏教徒の割合は1%未満と極めて小さい。ヒンドゥー教は多神教であり、カースト制度（ヴァルナ・ジャーティ制）による社会階層や生活規範と密接に結びついている。
問7	答え 4 スイス	スイスでは、人口の多数を占める地域で話されるドイツ語（ゲルマン語派）のほか、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語（いずれもラテン語派）の4つの言語が公用語として認められている。このように、複数の言語グループが共存し、それぞれの言語の権利が憲法で保障されている多言語国家体制が特徴である。
問8	答え 4 イギリス	18世紀以降、東インド会社を通じて中国などから茶（紅茶）が輸入され、貴族階級から庶民へと喫茶の習慣が広がった。アフタヌーンティーなどの独特の生活文化が定着した結果、この国では茶の消費量が世界的に見ても非常に多い。また、近年はコーヒーの消費も拡大している。
問9	答え 1 先住民	アンデス高地では、インカ帝国などの高度な文明が栄えていたため人口密度が高く、スペインの植民地支配下に入った後も、ヨーロッパ系との混血が進みつつも、先住民（インディヘナ）の系統を引く人々が多数派として残り続けた。これに対し、アルゼンチンなどではヨーロッパ系、ジャマイカなどではアフリカ系が多数を占める。
問10	答え 1 銀行	金融機関や企業の管理部門などは、業務効率や取引の利便性を高めるため、交通アクセスが良く情報が集積する中心業務地区（CBD）や中心市街地に高度に集中して立地する。これに対し、小学校は市街地全域に分散し、大型小売店は郊外の主要道路沿いに立地する傾向がある。

高校地理プリント（過去問類似）

人口・都市・生活文化 No.9

名前

得点

/10

問1 アジアに長期滞在する日本人の職業別割合をみると、民間企業従業員の割合が約7割と極めて高い特徴がある。これは、日本の多くの企業が安価な労働力や成長する市場を求めて現地に工場や支社を設立しているためである。このように、国境を越えて複数の国に生産や販売の拠点を置き、地球規模で意思決定や経済活動を展開する企業を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 現地子会社 2. 外資系企業 3. 合併企業 4. 多国籍企業

問2 中国では、1979年から実施された人口抑制策によって急速な少子高齢化が進行している。しかし、国内の農村部から都市部への移動労働力が豊富であるため、経済発展において（ ）に大きく依存する状況には至っていない。空欄（ ）に当てはまる、国境を越えて移動し、受け入れ国の産業を支える労働力を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 技能実習制度 2. 外国人労働力 3. 外国人労働者 4. 高度外国人材

問3 ヨーロッパの歴史的都市において、広場や凱旋門などの記念碑を中心として道路が外側へ伸び、それらを同心円状の道路が結ぶことで形成された、フランスの首都などの都市計画にみられる街路パターンを何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 放射環状路街 2. 直交路街 3. 放射直交路街 4. 迷路路街

問4 社会の近代化や医療の普及に伴い、まず死亡率が低下し、次いで出生率が低下することで、人口ピラミッドの形状が底辺の広い形から中央が膨らむ形へと変化していく。このような、多産多死から少産少死へと人口のあり方が移行する現象を何というか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 人口転換 2. 人口減少 3. 人口移動 4. 人口爆発

問5 南アフリカ共和国において、1990年代の人種隔離政策撤廃後、都心部の治安悪化や環境変化を背景に、商業施設やオフィスが都心部からサントンなどの郊外へと移転する都市構造の変化が見られた、同国最大の経済都市はどこか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. アディスアベバ 2. ケープタウン 3. ヨハネスバーグ 4. アレクサンドリア

問6 日本の東北地方や北陸地方などの豪雪地帯に位置する地方都市において、冬季の積雪時にも歩行空間を確保するために、商店街や旧街道沿いの建物の軒先を道路側に延長して作られた、伝統的な雪よけの通路を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 雁木 2. 流雪 3. 融雪 4. 消雪

問7 中国・四国地方に比べて一戸建て住宅の割合が高く、一世帯当たりの住宅の延べ床面積が広い。また、豪雪地帯を抱えるなど冬季の気候特性から、中国・四国地方に比べて冬季（1月～3月）の光熱費が高くなる傾向がある、本州中央部に位置する地方区分を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 関東地方 2. 近畿地方 3. 中部地方 4. 東北地方

問8 1970年代の石油危機に伴う原油価格の高騰により、莫大なオイルマネーが流入した。これを背景に国内で大規模なインフラ整備などの建設ブームが起こり、周辺のアラブ諸国や南アジア、東南アジアから大量の外国人労働者を受け入れた結果、現在でも国内の労働力の約半数を外国人が占めている西アジアの国はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. クウェート 2. サウジアラビア 3. バーレーン 4. カタール

問9 九州南部に位置する県庁所在地であり、周辺地域に対する広域的な商業・管理機能を備えた地方中心都市である。卸売業や小売業などの商業活動が盛んである一方、製造業の割合は比較的低いという特徴を持つ都市はどこか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 鹿児島市 2. 和歌山市 3. 名古屋市 4. 宇都宮市

問10 19世紀にセーヌ県知事オスマンによる大規模な都市改造が行われ、エトワール凱旋門を中心として道路が放射状に広がる街路網が整備された、フランスの首都はどこか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. ベルン 2. ローマ 3. パリ 4. リガ

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 4 多国籍企業	アジアにおける長期滞在日本人の職業別割合で民間企業従業員が圧倒的多数を占めるのは、日本の多国籍企業がアジア地域に多くの生産拠点や現地法人を設立し、多くの駐在員を派遣しているためである。これはアジアと日本との強い経済的結びつきを反映している。
問2	答え 2 外国人労働力	中国は少子高齢化が進みつつあるものの、国内の農村部から都市部へ移動する膨大な国内労働力（民工など）が存在するため、現時点で経済活動を維持するために国外からの労働力に依存する割合は極めて低い。これに対し、欧州や西アジアの産油国などでは、労働力不足を補うために国外からの労働移動に強く依存している。
問3	答え 1 放射環状路街	中心となる広場や記念碑から道路が放射状に伸び、それらを環状の道路が繋ぐ構造を持つ街路パターンである。19世紀の都市改造を経たパリなどに代表される。これに対し、新大陸の都市や日本の城下町などに多い碁盤の目状の街路は直交路街（格子状街路）と呼ばれる。
問4	答え 1 人口転換	社会の発展に伴い、衛生環境の改善や医療技術の向上によってまず死亡率が急激に低下する（多産少死）。その後、教育の普及や家族計画の浸透、女性の社会進出などによって出生率も低下し、最終的に少産少死の段階へと至る。この一連の歴史的・社会的な人口動態の変化プロセスを人口転換（デモグラフィック・トランジション）と呼ぶ。この変化は人口ピラミッドの形状にも直接反映され、富士山型から釣鐘型、そして壺型へと移行する原因となる。
問5	答え 3 ヨハネスバーグ	南アフリカ共和国では、アパルトヘイト（人種隔離政策）の撤廃後、それまで居住が制限されていた都心部に黒人層が流入した。これに伴う治安の悪化や過密化を避けるため、富裕層や企業、商業施設が都心部から北部のサントンなどの郊外へと移転し、都市の郊外化やインナーシティ問題が発生した。この現象が顕著に見られたのが、同国最大の経済都市であるヨハネスバーグである。
問6	答え 1 雁木	東北地方や北陸地方などの豪雪地帯では、冬季の積雪から歩行空間を確保するため、私有地である建物の軒先を道路側に突き出させて共同の通路とした「雁木（がんぎ）」と呼ばれる伝統的なアーケード状の構造物が見られる。これにより、雪に埋もれることなく買い出しや移動が可能となった。
問7	答え 3 中部地方	中部地方は、中国・四国地方と比較して一戸建ての割合が高く、住宅の延べ床面積が広い。さらに、日本海側を中心に豪雪地帯が広がるなど冬季の寒冷な気候の影響で、暖房費がかさむため、冬季の光熱費も中国・四国地方より高くなる傾向がある。
問8	答え 2 サウジアラビア	1970年代の石油危機（オイルショック）によって原油価格が急騰し、産油国には莫大な資金（オイルマネー）がもたらされた。サウジアラビアでは、この資金を背景に道路や港湾、都市開発などの建設ブームが起こり、深刻な労働力不足を補うために周辺のアラブ諸国や南アジア・東南アジアから多くの外国人労働者を受け入れた。その結果、現在でも国内の労働力人口の約半数を外国人が占める状況となっている。
問9	答え 1 鹿児島市	鹿児島市は、南九州の拠点都市（地方中心都市）としての性格が強く、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて発達している。一方で、大規模な臨海工業地帯などは形成されておらず、製造業の割合は全国平均や他の工業都市に比べて低い。
問10	答え 3 パリ	19世紀後半の都市改造によって、エトワール凱旋門を中心とする放射環状路街が整備された。この都市計画は、軍事的な暴動鎮圧対策、衛生環境の改善、交通の円滑化、および景観の美化などを目的として行われ、近代都市計画の先駆的事例となった。

高校地理プリント（過去問類似）

人口・都市・生活文化 No.10

名前

得点

/10

問1 南アジアに位置し、人口の多くがヒन्दゥー教を信仰している。この宗教では牛が神聖視されているため牛肉の消費が忌避されるほか、厳格な菜食主義者も多いため、経済規模に対して1人あたりの肉類消費量が極めて少ない国はどこか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. イラク 2. インド 3. ラオス 4. イラン

問2 東アジアの伝統的住居には、気候への適応を示す様々な特徴がある。台所の竈（かまど）から出る熱気や煙を床下に通して部屋全体を温める「オンドル」と呼ばれる床暖房システムが、伝統的な住居に広く普及した地域はどこか。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 朝鮮半島 2. 能登半島 3. 遼東半島 4. 山東半島

問3 富山県西部に位置する平野などにみられ、各農家が自宅の周囲にまとまった耕地を所有し、冬の季節風を防ぐための屋敷林に囲まれた家屋が広範囲に分散して立地している集落形態を何というか。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. 路村 2. 塊村 3. 散村 4. 街村

問4 16世紀後半から約330年間にわたりスペインの植民地支配を受け、その歴史的背景から、東南アジアの国々の中で例外的に国民の大部分がキリスト教（カトリック）を信仰している島国はどこか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. フィリピン 2. マレーシア 3. カンボジア 4. ミャンマー

問5 第二次世界大戦後の高度経済成長期、深刻な労働力不足に直面した西ドイツは、1961年に二国間の労働者募集協定を締結し、多くの「ガストアルバイター（客員労働者）」を受け入れた。この協定に基づき、西ドイツへ最大の労働力を送り出し、現在もドイツ国内で最大の外国人コミュニティを形成している、アジアとヨーロッパの架け橋とされる国はどこか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. スペイン 2. トルコ 3. ギリシャ 4. イタリア

問6 社会の近代化や医療の普及に伴い、まず死亡率が低下し、次いで出生率が低下することで、人口ピラミッドの形状が底辺の広い形から中央が膨らむ形へと変化していく。このような、多産多死から少産少死へと人口のあり方が移行する現象を何というか。 (2015年 全国公立入試 類似)

1. 人口転換 2. 人口減少 3. 人口移動 4. 人口爆発

問7 シベリアなどの寒冷地域において、住居の暖房から発生する熱が地中に伝わるのを防ぐため、床面を地表から離れた高床式の建築様式が用いられる。これは、地中に存在している何が融解して地盤が緩み、建物が傾倒するのを防ぐための工夫か。その対象となる土壌層の名称を答えよ。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 氷礫粘土 2. 泥炭土壌 3. 氷河粘土 4. 永久凍土

問8 ユーラシア大陸東部の乾燥地帯に位置するモンゴル高原では、季節的な移動を伴う遊牧が伝統的に行われてきた。この地域で、寒暖差の激しい気候に適応し、羊毛のフェルトを壁や屋根の覆いに用いて作られた、解体や移動が容易な伝統的住居の名称を答えよ。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ゲル 2. チセ 3. パオ 4. バレ

問9 日本の都道府県別の生活環境に関する指標において、神奈川県や千葉県、埼玉県などの大都市周辺部で通勤・通学時間が長くなる傾向がある。これに対し、通勤・通学時間が短く、かつ持ち家住宅割合が全国トップクラスに高い、日本海側に位置する都道府県はどこか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 富山県 2. 長野県 3. 石川県 4. 福井県

問10 アジア太平洋地域に位置するある国は、近年アジア諸国との結びつきを強めており、多くの留学生を受け入れている。この国における留学生の出身国・地域は、中国が最も多く、次いでインド、そして地理的に近い東南アジアのマレーシアが上位を占める。この受け入れ国はどこか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. パプアニューギニア 2. バヌアツ 3. オーストラリア 4. ニュージーランド

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 2 インド	インドでは人口の約8割をヒन्दゥー教徒が占めており、牛を神聖な動物として崇めるため牛肉の消費が禁忌とされている。また、イスラム教徒も一定数存在し豚肉を忌避すること、さらに殺生を嫌う教義から完全な菜食主義者（ベジタリアン）の割合が非常に高いことなどから、国全体の肉類消費量は極めて低く抑えられている。
問2	答え 1 朝鮮半島	オンドルは、冬季の寒さが非常に厳しいアジア東部の半島地域において発達した伝統的な暖房設備である。この地域では、台所の煮炊きで生じる熱を無駄なく住居の暖房に活用する知恵が生み出され、生活文化に深く根付いている。
問3	答え 3 散村	各農家が自らの耕地の中心に家屋を構えたため、家屋同士が離れて点在する景観が生まれた。一戸当たりの経営規模が比較的大きく、耕地の管理に都合が良いという利点がある。家屋の周囲には強風や吹雪から家を守るための屋敷林（カイニョ）が植えられている。
問4	答え 1 フィリピン	1521年のマゼラン到達後、1571年にマニラが建設されて以来、この地域はスペインの植民地支配下に入った。この長期にわたる支配の影響により、カトリックを中心とするキリスト教が広く浸透し、現在でも国民の約9割がキリスト教徒である。これは仏教やイスラム教が主流を占める他の東南アジア諸国とは異なる大きな特徴である。
問5	答え 2 トルコ	第二次世界大戦後の西ドイツは、急速な経済復興（奇跡の復興）に伴う労働力不足を補うため、周辺諸国と協定を結んで外国人労働者（ガストアルバイター）を受け入れた。特に1961年に協定を結んだトルコからの流入が最も多く、彼らの多くが定住化したことで、現在でもドイツにおける最大の外国人グループとなっている。
問6	答え 1 人口転換	社会の発展に伴い、衛生環境の改善や医療技術の向上によってまず死亡率が急激に低下する（多産少死）。その後、教育の普及や家族計画の浸透、女性の社会進出などによって出生率も低下し、最終的に少産少死の段階へと至る。この一連の歴史的・社会的な人口動態の変化プロセスを人口転換（デモグラフィック・トランジション）と呼ぶ。この変化は人口ピラミッドの形状にも直接反映され、富士山型から釣鐘型、そして壺型へと移行する原因となる。
問7	答え 4 永久凍土	シベリアやアラスカなどの高緯度地域（寒冷地域）の地下には、年間を通じて凍結した状態にある永久凍土が分布している。これらの地域で暖房を完備した建物を直接地面に建てると、建物からの熱が地中に伝わり、永久凍土が融解して地盤が沈下し、建物が傾いたり崩壊したりする原因となる。そのため、杭を深く打ち込んで床面を地表から浮かせ、熱が地盤に伝わらないようにする高床式の住居が考案された。多雪による出入口の閉塞を防ぐためといった理由は、この地域における高床式住居の主目的ではない。
問8	答え 1 ゲル	モンゴル高原などの寒冷な乾燥地帯では、遊牧生活に適した移動式住居が発達した。この住居は、家畜である羊の毛から作られた断熱性の高いフェルトで木製の骨組みを覆う構造になっており、強風や寒さに強く、かつ短時間で組み立てや解体ができるように工夫されている。中国語では「パオ（包）」とも呼ばれる。
問9	答え 1 富山県	富山県は、北陸地方に位置し、持ち家住宅割合が全国で最も高い県の一つとして知られている。また、職住近接の傾向が強く、大都市圏に比べて平均通勤・通学時間が短いという特徴を持つ。これに対し、関東大都市圏の神奈川県や埼玉県などは、郊外から都心への通勤・通学者が多いため、通勤・通学時間が長くなる傾向がある。
問10	答え 3 オーストラリア	アジア太平洋地域に位置するオーストラリアは、地理的な近接性からアジア諸国との関係を重視している。同国への留学生は、英語圏で共通して多い中国やインドに加え、地理的に近い東南アジアのマレーシアからの受け入れが上位に入ることが大きな特徴である。